農業のプロが教える農業を志す人のための研修
JAふくおか八女就農支援センター（福岡県）

【トレーニングファームの概要】

●所 在 地：福岡県八女市
●研修品目：いちご、トマト、ナス
●研修人数：７人程度/年
●研修要件：① 概ね50歳までの者、心身ともに健康で農業に意欲的な者。
② 研修終了後、JAふくおか八女管内（八女市・筑後市・広川町）に居住し、管内で農業経営を行う者。
③ 農業経営開始にあたり200万円準備できる者。
●研修内容：ほ場実習、土壌肥料・病害虫防除・経営・販売等の座学（１年間）
●研修場所：座学…就農支援センター研修室
ほ場実習…就農支援センターほ場
●設立の背景：以前は、JAの部会を通じて農家に一年間の研修受入れをお願いしていたが、受入農家の負担が大きく、また、栽培技術の平準化が図られていないことから、栽培技術だけではなく、農業を総合的に理解できる農業者を育成し、地域の担い手としていくことで、地域農業の持続的発展に繋げることを目的に、平成27年に「就農支援センター」を設置した。

研修用ハウス（いちご）

新規就農までの流れ

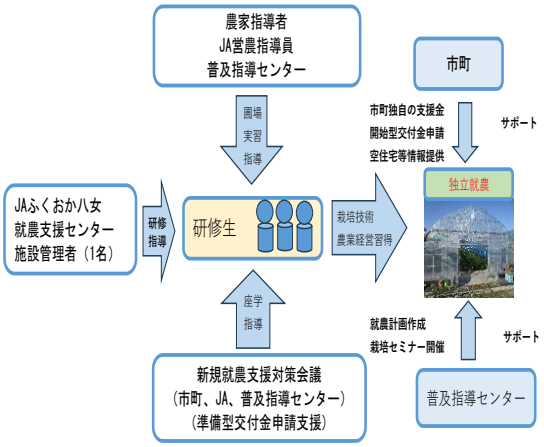
研修生募集
・JA・管内市町のHP、募集チラシなどで情報発信
・書類審査、就農センターでの短期研修・面接により選考

研修・育成
・就農支援センターほ場、本格的な実践規模での研修
・座学（施設、土壌肥料、病害虫防除、農薬、経営計画等）のほか、農業機械の実習など、就農に向けた幅広い内容の研修を実施

就農支援
・就農地、遊休ハウスの情報収集に取組み、マッチングをサポート
・準備型交付金申請支援
・農業施設等の導入に係る補助事業の斡旋

就農・定着
・就農支援センターを拠点として、関係機関と一体となった支援体制を継続
・就農年数が浅い農業者を対象とした研修会の開催

サポート体制



就農支援センターでの研修

研修期間（6月～翌年5月）

1年間

成果・実績

・第1期（平成27年）～第9期生（令和5年）まで48名（夫婦研修3組のため就農件数は45件）がJAふくおか八女管内で新規就農。
・新規就農45件のうち、36件がJAが斡旋する遊休ハウスを活用して就農。
・就農支援センターの技術指導は、作目ごとに極めて技術力が高い指導農家が付き、研修後のフォローも万全で、研修生や関係機関から信頼度が極めて高い。
・研修期間が1年であっても、就農後の生産部会や地域、指導農家等のフォローがしっかりしているので、新規就農者の成績がイチゴ・トマト・ナス部会全体の平均収量を上回っている。